

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会

SOLAS小委員会（第25期・第2回）議事要旨

1. 日時 令和4（2022）年12月14日（水）10:00～11:02

2. 会場 Zoomによる遠隔会議

3. 出席者：植松 光夫、原田 尚美、伊藤 彰記、岩本 洋子、亀山 宗彦、
武田 重信、谷本 浩志、角皆 潤、中岡 慎一郎、西岡 純、
野村 大樹、濱崎 恒二、宮崎 雄三、安中 さやか
欠席者：相木 秀則、張 勁

4. 配布資料

資料1： 国際・国内SOLASの活動状況報告

5. 議事内容

（1）国際SOLASの活動状況

西岡委員より以下の報告があった。

- ・ 2022年9月にケープタウンにてSOLAS Open Science Conference（OSC）がハイブリッド形式で開催された。全体では、前回OSC（札幌開催）と同等の参加者数があった。日本のコミュニティは現地参加や基調講演を通して一定の存在感を示すことができた。次回OSCは2024年にハイブリッド形式で開催予定である。候補地として南米が視野にあるが未定。その他の案として、欧州または北米において参加人数の規模を拡大して開催することを併せて検討中である。
- ・ 次回のSOLAS Summer Schoolは、2023年6月5-16日にガーボベルデにおいて対面開催される予定で準備が進められている。
- ・ SOLAS若手研究者のネットワーク作りを目的としたSOLAS Early Career Science Committeeの準備が進められている。SSCとは独立した委員会である。初期メンバーのノミネートが2022年11月25日に締め切られ、日本から2名のノミネートがあった。
- ・ 2021年にSCORによるレビューを受け一定の評価を得たものの、2025年をもってSCORからのファンドは終了と通達されている。今後、SSCはSOLASという形は残しつつ改革を提示し、NSF/SCORにファンドの継続を働きかけると共に、他のファンドを模索する。
- ・ SSCメンバーの交代があり、これまでSSCに入っていた西岡委員が退く。2023年のSSCメンバーに日本人は不在であるが、2022年のノミネートリストは一部繰り越されるため来年以降にメンバー入りの可能性は残されている。国内コミュニティに有益な情報を持つためにSOLAS IPOとのパイプを今後も継続的に維持することが重要である。

- ・ その他、SOLAS Regional representativeの設置、SOLAS initiative (SOLAS modeling task; Land-Ocean-Atmosphere)の活動、SOLAS 関連レビュー論文の執筆、SOLAS Ocean Decadeの取り組みについて報告があった。
- ・ SCORのSOLAS関連の新規プログラムとして採用されたRUSTEDに伊藤委員、DMS-PROに亀山委員が関わっている。

(2) 国内学会等でのSOLAS関連セッションの開催状況

亀山委員より以下の報告があった。

- ・ JpGU2022において、SOLAS関連セッション「海洋表層-大気間の生物地球化学」を開催した。本セッションへの発表申込数は近年伸び悩んでおり、委員の周辺で積極的な声かけをお願いしたい。JpGU2023においても本セッションを開催予定である。
- ・ 海洋学会の秋季大会、地球化学会年会（秋開催）においてもSOLAS関連のセッションが開催されている。春のJpGUセッションと併せて、SOLAS関係研究の情報交換の場を有機的に回していきたい。また、宮崎委員長より、2023年2月に北海道大学低温科学研究所で開催されるSOLAS関連研究集会の案内があった。

(3) 国内SOLAS観測研究計画など

- ・ 濱崎委員より令和5-7年の白鳳丸三ヵ年計画で採択されたSOLAS-JIPS航海に関する説明があった。2023年7月（夏季）と2026年2-3月（春季）に実施予定である。2023年7月のSOLAS-JIPS航海は、西部北太平洋を対象として、途中の寄港を含めて全体で28日間として計画されている。2022年12月28日に本航海に関する第一回会合をオンラインで開催予定ある。

(4) その他

宮崎委員長より以下の報告・依頼があった。

- ・ SOLAS-Japanの残予算について報告があった。使途は検討中である。
- ・ SOLAS-Japanの情報発信の場として、ウェブサイトを積極的に活用して欲しい旨依頼があった。
- ・ 次回または次々回のSOLAS International Seminar（現在までに3回開催）のホストを日本のコミュニティで担当する予定であることが報告された。講演依頼がある場合には引き受けて欲しい。具体的なテーマや対象となる聴衆層は今後検討予定である。

以上。